

# 第24組 広報

発行日  
2013年7月1日  
第154号  
発行責任者  
組長 纒澤成互

## 「弥陀の本願を信じ 念仏申さば 仏になる」

— 聞法の輪に入り 朋と語り合おう —

組長 纒澤成互

皆様には、日頃24組事業に何かとご理解・ご協力賜り有り難うございます。

阿弥陀経の中に、極楽にある池に咲いている蓮の花の様子を表現して、「咲いている蓮の花は、車輪のように大きい。青い花は青く輝き、黄色い花は黄色く輝き、赤い花は赤く輝き……。」と記されています。

この言葉は「それぞれの花が、それぞれの色を輝かせている。」というのです。絵の具の色は、混ぜ合わせるほどに黒く濁りますが、光は混ぜ合わせるほどに白色光、つまり日光に近づきます。

ところが、私が「私色」を出した時は、絵の具のように、どうかして皆を私色にしたいと考えがちなのです。言い換えると、「私の想いに賛同して欲しい。」との思いが強くなりがちなのです。殊に、利害が絡まると「主張」となります。この事は、「私には、それぞれの色の輝きを見る力が無い」ことを示しています。かって「私の缺は良く切れる。あいつは嫌い、この人好きだ。」のような言葉をどこかで見かけました。私は、この缺を持っています。御経は、人間の本質を映し出し、目指す方向をも示して下さいます。まさに、「経とは、教えであり、鏡である。」であります。どの文字も「きょう」と読むことで、御経の本質を言い当てていると思います。

平成25年度も、24組として各部会共に様々な「聞法の場」を計画して下さいます。この「輪」の中に進んでお入り戴いて、「法(のり)の花」を輝かせていただくよう願っています。尚、7月27日(土)に組総会を開催します。各寺住職・組門徒会員のご出席をお願いします。

## 真宗本廟上山奉仕報告

坊守会長 磯野恵子

組坊守会では、去る5月10日(金)～11日(土)に上山奉仕を致しました。組内寺院から9



名の坊守が参加しました。「坊守仮面」についてを研修テーマにし、見義悦子教導より講義を受け、竹垣真実補導の司会のもとで座談会が進められました。講義の要旨は、親鸞聖人を通して、聖道門仏教・浄土門仏教についてや、観無量寿経の概要(韋提希を中心とした講義)等のお話でしたが、日ごろの坊守としての悩みや課題をお互いに語り合うことができ、有意義な研修となりました。



# 組同朋大会が盛大に開催される

— 24ヶ寺から131人が参加 —

去る6月8日（日）午後1時から、妙覚寺（高月町東柳野）で24組同朋大会が開催されました。組内寺院30ヶ寺中24ヶ寺より131人が参加され、大変有意義な集いとなりました。

大会は、先ず真宗宗歌斉唱の後、『澤組長から大会開催の願いが話され、続いて川那部組駐在教導からテーマの趣旨説明がありました。この大会を開催するにあたり、教化委員会では何回も会合を開き、テーマの決定や、先生にどのようなお話しをしていただくのか、私たち自身の生きざまや課題を踏まえ話し合いを重ねてこられました。そして先生と事前に連絡を密にしながら、この大会を迎えました。講師は真城義麿先生（前大谷中高等学校長）にお願いしました。そして「みんなが安心して生きられる世界に」と題してお話ししていただくことになりました。人を人材といい、役に立つか立たないかが問われる社会の現状を踏まえながら、人間として生きる意味や、私たちの本当の願いはとは何なのかを、ユーモアを交えながら分かりやすく丁寧にお話しをしてくださいました。講演の後、参加者から質問される場面もあり、皆さんが真剣に聴聞されているお姿を目の当たりにしました。

この大会も回を重ねるごとに有意義な内容となり、参加していただいた方を中心に、各寺で聞法の輪が広がって行くことを願いとして、来年も開催される予定です。最後に小高組門徒会長から閉会のあいさつがあり散会となりました。

取材 広報委員 秦

紘澤組長の開会あいさつ



# お寺の掲示板

えんぎょうじ  
圓行寺 (高月町西柳野)

今回は、高月町西柳野の圓行寺さんを訪問しました。西柳野は、西野水道から約一㎞上流で余呉川のすぐ南側にあり田んぼに囲まれた約四十戸の集落で、当寺は集落の北部にあります。正面の左側に掲示板があり『幸せのコツ 気配りのできる人、気配りの大前提は、まず気づくこと。気づく人になるためには、自分が気づかない人だとおもっていること。』という新聞に載っていた言葉を書かれたとのこと。禿信敬住職は、月に二回掲示されるとのこと、今回の内容は「自分が、気が付いていないということに気づく、また気づかせていただく。その気づいたとき自分の手柄のように思うと世間が見えにくくなる。そして、はっと思ってしまった気づく。これの繰り返しである。」と、話して下さいました。西柳野は、仏法に厚い集落で門徒さんが寺の事も良くしてくださり支えていただいています。このことは、明治時代この地に三ヶ寺あり



全部で二四戸の門徒であったそうです。現在、一ヶ寺にまとまっていることは、この地域が仏法に厚かったからだともお話しただけました。また、この寺と隣接して神社とお地藏さんがあり、散歩の時にお参りされ毎回この掲示板をよく見られるとのことでした。このお地藏さんは有名です。皆さんも、一度「圓行寺」さんや、お宮さん、お地藏さんにお参りされ掲示板のお言葉に触れられたらと思いました。

(取材・広報委員 林)

# 社会問題研修会

五月三〇日(木)午後七時三〇分から高月町磯野の本宗寺を会場に社会問題研修会が開催されました。一二組即往寺のご住職京極真了氏を講師に迎え、「一人とのつながり 差別に学ぶ」と題し、人権問題を通してお話をしていただきました。先生は「愚かさとは答えをもっていることである」と押さえられ、自分の考えを正しい答えとして、それをもの差しにして差別をしてしまう。この自分の濁りがはっきりすることを信心といい、それに気づかされたら法は聞くしかないと教えていただきました。一三ヶ寺四五人が参加され、終始熱心に耳を傾けておられました。

社会部会幹事 美濃部俊裕





## 長浜別院夏中日程 (日時)7月2日(午後より)~10日

★「夏のお文」拝読・法話 午前10時~2時50分 (2日は午後より)

★暁天講座 午前5時40分~6時30分 (2日~10日)

◀「夏のお文」拝読・法話講師▶

2日 護 雅頭氏 (15組・一心寺)	◀暁天講座▶
3日 橘 善證氏 (23組・願超寺)	3日 河崎 顕祐氏 (15組・覚応寺)
4日 益田 弦氏 (敦賀組・真願寺)	4日 東溪 芳寿氏 (23組・浄法寺)
5日 佐藤 義成氏 (18組・満徳寺)	5日 上橋 宏章氏 (13組・長楽寺)
6日 笹原 弘正氏 (19組・正福寺)	6日 森 清隆氏 (23組・本光寺)
7日 谷 孝之氏 (24組・誓海寺)	7日 橘 寛氏 (22組・安立寺)
8日 春近 寛氏 (14組・皆念寺)	8日 春近 環氏 (14組・皆念寺)
9日 武生 克幸氏 (敦賀組・西雲寺)	9日 國友 強氏 (19組・浄行寺)
10日 中濱 顕文氏 (20組・白櫻寺)	10日 早寄 和典氏 (22組・要誓寺)

## 五村別院夏中日程 (日時)8月5日(午後より)~10日

★「夏のお文」拝読・法話 午前10時~2時45分 (5日は午後より)

★暁天講座 午前5時40分~6時30分 (6日~10日) ★納涼講座 7日午後7時~ 溪内弘恵氏

◀「夏のお文」拝読・法話講師▶

5日 伊藤 尚典氏 (13組・真入寺)	◀暁天講座▶
6日 伊藤 尚典氏 (13組・真入寺)	6日 雲根 智城氏 (12組・聞法寺)
7日 溪内 弘恵氏 (金沢教区・養楽寺)	7日 寺本 智教氏 (17組・願久寺)
8日 澤面 宣了氏 (16組・浄願寺)	8日 武田 晃威氏 (16組・遍増寺)
9日 對月 慈照氏 (14組・願浄寺)	9日 七岡 朋子氏 (15組・田勝寺)
10日 泉 恵機氏 (21組・清休寺)	10日 有賀 尚子氏 (13組・光了寺)

※五村別院への行路— JR虎姫駅下車⇒徒歩10分

### 組・各寺の法座等のご案内

会 場	法 座 名	期	日	法 話 者 等
浄教寺 (東阿閉)	墓参会	8月12日 (月)	11時~	佐藤義成氏
覚勝寺 (西阿閉)	墓参法要	8月12日 (月)	14時~	住職
円行寺 (西柳野)	古保利学区追弔会	7月28日 (日)	10時~	日野隆文氏
円行寺 (西柳野)	墓まいり	8月13日 (火)	7時~	住職
妙覚寺 (東柳野)	墓参り	8月12日 (月)	11時~	代務住職
梅龍寺 (磯野)	墓参り	8月13日 (火)	8時~	住職
双林寺 (西物部)	永代経	7月6日 (土)	10時~	未定
双林寺 (西物部)	墓参り	8月12日 (月)	11時~	未定
猶存寺 (布施)	お墓参り	8月13日 (火)	9時30分~	佐藤義成氏
長照寺 (唐川)	墓参法要	8月10日 (土)	10時~	高岡 淳氏
		8月11日 (日)	6時・10時	住職・副住職
樹徳寺 (田居)	墓まいり	8月11日 (日)	10時~	住職
誓海寺 (大音)	墓参り法要	8月13日 (火)	10時~	秦 信映氏
明德寺 (黒田)	お墓参り	8月12日 (月)	5時30分	木村智明氏